

令和2年度 決算書関係資料

主要施策執行状況



青森県南津軽郡大鰐町

目 次

1	議会事務局	
○	公共施設等に関するアンケート調査	1
2	総務課	
○	過疎地域自立促進特別事業基金積立金	2
○	地域情報通信基盤整備事業	2
○	共同クラウド事業	2
○	常備消防費	2
○	非常備消防費	2
○	消防ポンプ自動車購入事業	2
○	災害対策費	2
○	防災あじゃらメール配信システム構築事業	3
○	防災マップ作成事業	3
○	新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金事業 (避難所用品)	3
○	公債費	3
○	病院事業会計補助金	3
3	企画観光課	
○	土地開発公社健全化対策事業	4
○	庁舎改修事業	4
○	地域生活交通費	4
○	久吉ダム水道企業団補助金	4
○	ふるさと納税推進事業	4
○	コミュニティ助成事業	4
○	地域クリエイターと連携した新たな担い手育成及び コンテンツ等開発事業	5
○	住民参加型まちづくり事業	5
○	事業者緊急対策支援事業	5
○	新しい生活様式対策支援事業	5
○	冬季観光促進事業	5
○	町村の魅力発信事業	5
○	事業承継推進事業	6
○	未来を変える元気事業	6
○	ゆるキャラ製作事業	6
○	地域交流センター改修事業	6
○	大湯会館事業	6
4	税務課	
○	コンビニ収納導入事業	7
○	納税組合等補助金	7
5	住民生活課	
○	戸籍住民基本台帳費	8
○	斎場管理費	9
○	清掃業務事業費	9
○	家庭ごみ処理手数料徴収費	9
○	弘前地区環境整備事務組合負担金	9
○	津軽広域連合し尿等希釈施設管理運営費負担金	9
6	保健福祉課	
○	包括的支援体制構築事業	10
○	社会福祉協議会補助金	10
○	国民健康保険特別会計繰出金	11
○	老人福祉センター費	12
○	老人福祉センター改修事業	12
○	後期高齢者医療特別会計繰出金	12
○	後期高齢者医療広域連合負担金	12
○	介護ロボット等導入促進事業補助金	13
○	養護老人ホーム入所措置費	13
○	介護保険特別会計繰出金	13
○	心身障害者対策事業	14
○	地域生活支援事業	14
○	地域活動支援センター事業	15
○	障害福祉計画策定事業	15
○	ひとり親家庭等医療費	16
○	子ども・子育て支援事業	16
○	障害児通所等支援事業	17
○	児童手当	17
○	子どものための教育・保育給付費	17
○	中央児童館管理事業	19
○	弘前市二次救急輪番制病院運営費	20
○	高度救命救急センター運営費補助金	20
○	予防接種事業	20
○	風しんワクチン接種支援事業	21
○	子育て支援アプリサービス利用	21
○	妊婦健康診査事業	21
○	子ども医療費給付事業	22
○	不妊治療費給付費	22

目 次

○ハイリスク妊産婦アクセス支援事業	23	○特別支援教育推進事業	36
○生活習慣病予防対策事業	23	○AET招致事業	37
○シルバー人材センター運営費	25	○スクールバス運行事業	37
○診療所整備事業	25	○小学校改修事業	37
7 農林課		○中学校改修事業	38
○果樹共済加入率向上推進事業	26	○生きる力育成事業	38
○集会施設改修事業	26	○部活動支援事業	39
○農道・水路等維持補修管理費	26	○小学校扶助費	40
○農業後継者等養成講座委託事業	27	○中学校扶助費	40
○農業人材力強化総合支援事業（新規就農）	27	○新型コロナウイルス対策事業	41
○農業生産施設整備促進事業	28	○放課後子ども教室推進事業	42
○経営所得安定対策直接支払推進事業	28	○中央公民館改修事業	42
○町単農業施設整備事業	29	○小中学校スキーマ振興事業	42
○機構集積協力金交付事業	29	○虹貝多目的広場管理費	42
○多面的機能支払交付金事業	30	10 学校給食センター	
○中山間地域等直接支払交付事業	30	○学校給食費	43
○現年発生単独災害復旧事業	31	11 地方消費税交付金（社会保障財源分）	44
○森林経営管理事業	31		
○森林整備事業（林道三ツ目内・高野新田線）	32		
8 建設課			
○急傾斜地崩壊対策事業負担金	33		
○町道舗装及び改良事業	33		
○交通安全対策事業	33		
○流融雪溝整備事業	33		
○橋梁改修事業	33		
○除排雪対策事業	33		
○都市公園施設管理事業	34		
○あじやら公園・茶臼山公園施設改修事業	34		
○定住促進・子育て住宅支援事業	34		
○空き家等対策事業	34		
○公共下水道事業特別会計繰出金	35		
○流域下水道事業（建設負担金）	35		
○公共下水道事業	35		
○合併浄化槽事業	35		
9 学務生涯学習課			
○校内ネットワーク環境整備事業	36		
○情報機器整備事業	36		

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
公共施設等に関するアンケート調査業務委託		1,524	0	閉館後相当な年数が経過している湯〜とぴあ、おおわに山荘、旧高原スキー場関連施設等の遊休施設、及び役場庁舎等の町が保有する公共施設について、今後の適切な在り方と方向性を調査・分析し、提言を図るための基礎資料とするため、町民に対してアンケート調査を行った。	<p>個々の遊休施設について解体や保存、再利用等、数字で町民の意向が明確になった。</p> <p>この結果をホームページ等に公表し、執行部側へ新たな女性会議の新設検討についても提言した。</p>

担当課 総務課

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
基金積立		73,600	0	過疎地域自立促進特別事業基金積立金	過疎地域自立促進特別事業に要する経費の財源の確保が図られた。
地域情報通信基盤整備事業		8,653	7,772	町で整備した光ファイバーケーブルに係る保守・管理等を実施 ・移設工事 1,283千円 ・保守点検委託料 3,400千円 ・電柱添架料 3,746千円 ・建物災害共済基金分担金 224千円	住民が光ファイバーケーブルを円滑に利用できる環境を維持することができた。 ・令和2年度末現在の加入率 34.6%
共同クラウド事業		29,658	29,388	平成27年度から基幹系システムについて、弘前地区電算共同化クラウドサービスの利用を開始。	当事業により、経費削減や災害時のデータ保全の強化・セキュリティ強化が図られた。
常備消防費		189,014	214,974	弘前地区消防事務組合負担金	火災発生時等の消防署員の迅速な対応により、住民の安全性が図られた。
非常備消防費		24,829	23,984	消防団活動費等	・火災出動8回 出動人員770人 ・訓練・火防宣伝等実施
消防ポンプ自動車購入事業		24,992	24,590	小型動力ポンプ付積載車購入費(2台) ・配置分団 第6分団 居土地区 第8分団 苦木地区	老朽化が進む町消防団の配置車両更新により、機動力・消防力の向上が図られた。
災害対策費		3,916	147,253	非常用食料の備蓄に係る経費	非常用食料の備蓄により、町の防災力の向上が図られた。

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
防災あじゃらメール配信システム構築事業		1,195	0	大鰐町防災あじゃらメール配信システム構築に係る経費	防災行政無線による放送のほか、防災あじゃらメールの配信により、災害情報や町の様々な情報を個別に配信することが可能となった。
防災マップ作成事業		3,982	0	平川洪水浸水想定区域・土砂災害警戒区域等のハザードマップを盛り込んだ防災マップ作成に係る経費	町のハザード情報と災害に関する知識等を掲載した防災マップを作成し、町民に配布したことにより、町民の防災意識の向上が図られた。
避難所感染症対策整備事業		46,112	0	感染症対策を考慮した避難所の運営に必要な施設用品等の購入費 ・非常用テント、間仕切り、移動式クーラー、ダンボールベット、アルミマット、圧縮毛布等	感染症対策を考慮した避難所運営時に必要となる施設用品を整備したことにより、防災力の向上が図られた。
公債費		583,215	1,113,150	地方債元利償還金	・元金 537,212千円 (うち三セク債元金 155,762千円) ・利子 46,003千円 (うち三セク債利子 33,302千円)
病院事業会計補助金		340,775	312,439	病院事業の運営に対する補助金 (地方公営企業に対する繰出金) ・事務費繰出 ・建設費繰出 ・公債費財源繰出	病院事業会計補助金による経営健全化対策

担当課 企画観光課

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
土地開発公社健全化対策事業		20,000	20,000	大鰐町土地開発公社補助金 (農工団地損失補てん給付金)	補助金給付により、損失額の減少が図られた。
庁舎改修事業費		6,754	30,766	・庁舎水回り箇所改修工事 4,595千円 ・役場庁舎床修繕工事 1,210千円	庁舎環境を整えることができた。
地域生活交通費 ・デマンドバス運行補助金 ・地域公共交通確保維持補助金 ・弘南鉄道大鰐線利用促進事業負担金 ・弘南鉄道大鰐線運行費補助金		26,334 2,059 287 7,255	28,738 2,974 0 0	・デマンド方式で運行するための事業補助金(高野新田線、島田線、駒ノ台線) ・民間路線バス運行に対する運行補助金(弘前BT～碓ヶ関線) ・弘南鉄道の利用促進に係る補助金 ・弘南鉄道に対し、沿線市町村が運行費を補助	地域住民の通勤、通学、買い物等の日常生活に欠かせない交通手段の確保が図られた。 弘南バスに補助することで、弘前大鰐間の路線バスを確保することができた。 弘南鉄道の魅力や価値、利便性の向上や情報発信が図られた。 運行費の補助により地域住民の足である弘南鉄道の運行を維持できた。
久吉ダム水道企業団補助金		91,558	98,286	・高料金対策に要する経費 89,573千円 ・職員に係る児童手当 336千円 ・資本費平準化債の利子補給 1,649千円	地方公営企業の経営の健全化を促進し、その経営基盤を強化する。
ふるさと納税推進事業		11,142	8,500	ふるさと納税収納代行業務を(株)さとふる、楽天(株)への委託により実施	ふるさと納税についてインターネットのポータルサイトへの掲載、受付を委託した。 令和2年度のふるさと納税寄付額は、22,260千円(令和元年度：16,952千円)
コミュニティ助成事業		3,900	2,000	宝くじコミュニティ助成事業により町内各地のコミュニティ施設整備に補助金を交付	町内各地のコミュニティ施設の備品等を整備して地域の活性化の推進が図られた。 (三ツ目内地区、長峰地区)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
地域クリエイターと連携した新たな担い手育成及びコンテンツ等開発事業		2,770	2,449	弘前市、田舎館村、嬉野市（佐賀県）と連携し、様々なクリエイター達と新たなコンテンツの開発等を実施	「おおわにらんたん」を弘南鉄道大鰐線や中央弘前駅舎等に展示し、地域住民から好評を得た。
住民参加型まちづくり事業		3,117	0	住民団体が主体的に取り組む新たなまちづくり・地域づくり活動に対し、町が資金助成し、住民が主役となる活力あるまちづくりを目指す	まちづくり活動に参加する住民も増え、住民のまちづくりへの参加意識が向上した。
事業者緊急対策支援事業		33,800	0	新型コロナウイルス感染症により、経営に大きな影響を受けた事業に対する給付金	中小企業や個人事業者の事業継続が図られた。
新しい生活様式対策支援事業		30,202	0	事業者が新型コロナウイルス感染症対策として実施した改装費・設備費・備品費等の支援の実施	感染拡大予防の取り組みにより、不特定多数の人が利用する施設、店舗内の換気環境や、事業転換を行うことにより事業の継続が図られた。
冬季観光促進事業		18,991	0	町内宿泊者を対象とした、大鰐温泉スキー場リフト券の無料化、毎週土曜日のスキー場リフト1日券を500円、リフト券掲示で鰐come入浴料の割引実施	リフト券無料化や、ワンコインにより多くのスキー客が来町することにより、スキー場宿泊施設等の活性化が図られた。
町村の魅力発信事業		2,223	2,008	観光客に安心・安全・快適に利用してもらうための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・まち歩き、山歩きパンフレットの作成 ・大鰐温泉駅舎の駅名看板の改修 ・駅前足湯「のれん」の改修 ・駅前駐車場の階段整備

担当課 企画観光課

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
事業承継推進事業		27,560	33,937	農業や観光等の分野にも担い手育成の取組を進め、地域産業の振興、地域特産品の伝承、事業承継、雇用や事業の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・大鰐温泉もやし増産・安定供給及び販路拡大事業 ・廃業危機となっている観光事業者の事業承継を目指し、聞き取り調査を実施 ・大鰐町を持続可能にする地域経営人材育成事業 ・町に関心のある担い手候補者に対してセミナーを実施
未来を変える元気事業		9,756	0	新型コロナウイルス感染症の終息を見据え、受入環境の整備やPRグッズの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・移住PR動画及びパンフレットの製作 ・大円寺トイレ改修工事 ・看板改修工事(庁舎、国道)
ゆるキャラ製作事業		1,182	1,725	令和元年度に誕生したゆるキャラ「もやっぴー」のデザインマニュアルの作成及び鰐マスコットの愛称募集	デザインマニュアルを作成し、デザインイメージを統一化。多様な場面でイラストを使用してもらえようイラストパターンを追加。鰐マスコットの愛称を広く募集し、「あじやりん」「あじゃらん」に決定。
地域交流センター改修事業		27,569	26,317	地域交流センター「鰐 come」の改修を、指定管理者(プロジェクトおおわに事業協同組合)との協議により実施	露天風呂の改修工事や非常用照明等入替工事等を実施。入館客が安全で快適に施設を利用できるように補修した。
大湯会館事業		2,024	397	大湯会館の管理運営に係る事業費	指定管理により、施設維持管理の向上及び安全が図られた。(入浴客数 68,482 人)

担当課 税務課

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
コンビニ収納導入事業		3,080	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賦課収納システム改修業務委託料 2,970千円 ・ コンビニ収納サービス導入準備業務委託料 110千円 	納税機会の拡大を図り、納期内納付を促進するため、令和3年度からコンビニエンスストア、郵便局・ゆうちょ銀行及びスマートフォンアプリでの納付が可能となるよう、収納システムの改修を実施した。
納税組合等補助金		3,999	4,368	<ul style="list-style-type: none"> ・ 納税組合事務費補助金 3,684千円 ・ 納税組合連合会補助金 315千円 	納税組合の組織強化及び活性化を図ることにより、納期内納付を促進し、安定的な財源の確保を図ることができた。

担当課 住民生活課

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
戸籍住民基本台帳費		10,157	12,790	住基ネット <ul style="list-style-type: none"> ・ハードウェア保守料 61千円 ・ソフトウェア保守料 462千円 ・統合端末追加分リース料 11千円 ・本人確認書類裏書印字システムハード保守料 72千円 	住民基本台帳ネットワークシステム(「住基ネット」という。)は、居住関係を公証する全国の市区町村の住民基本台帳をネットワーク化し、全国共通の本人確認ができるシステムとして平成13年度から運用されており、住民の利便性の向上と国及び地方公共団体の行政の合理化が図られている。 また、平成27年10月から交付が始まったマイナンバーカードの基幹システムとなっており、電子政府・電子自治体の基盤となるシステムとなっている。
				戸籍情報システム <ul style="list-style-type: none"> ・リース料 3,979千円 ・ハードウェア保守料 396千円 ・ソフトウェア保守料 4,554千円 	平成26年2月22日付で電算戸籍の運用を開始したことにより、戸籍副本を管理している法務省と戸籍副本データ管理システムを構築することが可能となり、災害等による戸籍正本減失に備えることができている。
				マイナンバーカード交付関連機器 <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカード交付予約・管理システムリース料 556千円 ・マイナンバーカード交付予約・管理システム予約機能利用料 66千円 	令和2年10月1日付でマイナンバーカード交付関連機器を導入・運用したことにより、窓口の混雑緩和による新型コロナウイルス感染症対策及びマイナンバーカード交付業務の円滑化が図られている。

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
斎場管理費		12,637	17,556	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理料 7,680千円 ・ 火葬炉設備修繕 2,827千円 ・ 水廻り箇所感染症対策改修工事 2,031千円 	斎場の管理を指定管理することにより、利用者に対するサービスの向上及び効率的な管理運営をすることができた。
清掃業務事業費		35,852	35,507	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塵芥収集運搬業務委託料 32,026千円 ・ 分別収集業務委託料 3,826千円 	日々排出される一般廃棄物の収集運搬作業を、経験と実績がある民間事業者へ委託することにより、住民の生活環境や環境保全の維持を確保することができた。
家庭ごみ処理手数料徴収費		4,616	4,523	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定ごみ袋販売手数料 1,372千円 ・ ごみ袋製造等委託料 3,244千円 (※ごみ袋販売収入 10,370千円) 	家庭系可燃・不燃ごみの有料化により、ごみの減量化が図られ、搬入割合基準の弘前地区環境整備事務組合の負担金も減額となった。
弘前地区環境整備事務組合負担金		37,728	42,075	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ処理施設管理負担金 36,546千円 ・ 焼却灰等処理費負担金 1,182千円 	弘前市圏域2市3町1村で構成する一部事務組合で、ごみ処理施設の管理運営を行うことで、費用等の効率化が図られた。
津軽広域連合し尿等希釈施設管理運営費負担金		14,083	12,832	<ul style="list-style-type: none"> し尿等希釈施設管理運営費負担金 ・ 浄化槽分 9,206千円 ・ 生し尿分 4,877千円 	黒石地区を含む近隣8市町村が共同で施設運営を行うことにより、下水道との共同処理費用の効率化が図られた。

担当課 保健福祉課（社会福祉）

（単位：千円）

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
包括的支援体制構築事業		4,453	0	複合的な問題を抱えている相談に対し、分野を問わず包括的に相談支援を行えるように、総合的な相談支援体制づくりの整備を行う。市を除く中南地域5町村（大鰐、藤崎、板柳、田舎館、西目屋）が実施主体となり、青森県社会福祉協議会に、複合課題を抱える住民（個人・世帯）に必要な支援のコーディネート及び相談支援包括化ネットワークの構築、不足する社会資源の創出に係る事業の委託。	青森県社会福祉協議会で「中南地域自立相談窓口」を設置。課題の解決に繋げている。 [実績] ・相談件数 25件 ・支援のためのプランの作成件数 9件
社会福祉協議会補助金		19,116	19,958	大鰐町社会福祉協議会の運営等に対する補助金 ・法人運営費（人件費6人分） 16,386,060円 ・福祉団体補助金（6団体） 1,215,015円 ・長寿福祉祭事業費補助金 1,027,805円 ・戦没者追悼式補助金 162,480円 ・心配ごと相談所運営費補助金 206,752円 ・高齢者入浴福祉バス補助金 118,030円	地域の実情に応じた福祉の啓発活動や生活支援等の取組を展開することで、「地域住民が住み慣れた地域で安心して生活することができる「福祉のまちづくり」の推進が図られている。 [実績] ・戦没者追悼式(8/20開催)参加者40人 ・長寿福祉祭(9/8開催)来場者約43人 ・心配ごと相談 相談件数 8件 ・入浴福祉バスの運行 2回

担当課 保健福祉課（社会福祉）

（単位：千円）

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
国民健康保険特別会計 繰出金		128,742	126,680	国民健康保険特別会計に対する繰出金 ・保険基盤安定負担金 保険税軽減分 51,021,710円 保険者支援分 24,979,643円 ・職員給与費等分 32,155,340円 ・出産育児一時金分 1,120,000円 ・財政安定化支援事業分 19,465,000円	国民健康保険特別会計の財政基盤の安定化が図られた。

担当課 保健福祉課（老人福祉）

（単位：千円）

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
老人福祉センター費		12,021	13,271	<p>地域住民が利用する老人福祉センターを大鰐町社会福祉協議会が管理及び運営を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費（1名分） 2,025,000円 ・管理運営に係る諸経費 9,995,920円 	<p>大鰐町社会福祉協議会が管理運営することで、施設の安全に留意した管理ときめ細やかなサービス提供が図られている。</p> <p>[利用実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間入浴者数 4,493人 ・入浴料 402,650円 ・高齢者教養講座等参加者数 124人
老人福祉センター改修事業		6,824	12,878	<ul style="list-style-type: none"> ・電話機改修工事 618,200円 ・女子便所設備改修工事 3,960,000円 ・水回り箇所感染症対策改修工事 2,245,975円 	<p>経年劣化及び感染症対策で改修が必要となったものであり、改修工事により安全な設備管理が図られた。</p> <p>女子便所設備改修工事については、洋式便座を増設することにより、安全で快適な環境の整備が図られた。</p>
後期高齢者医療特別会計繰出金		50,595	45,855	<p>後期高齢者医療特別会計に対する繰出金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険基盤安定負担金分 47,744,430円 ・事務費等分 2,850,689円 	<p>後期高齢者医療特別会計の財政基盤の安定化が図られた。</p>
後期高齢者医療広域連合負担金		146,871	152,119	<p>後期高齢者医療広域連合に対する負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療養給付費分 141,417,915円 ・共通経費分 5,453,000円 	<p>後期高齢者医療広域連合の財政基盤の安定化が図られた。</p>

担当課 保健福祉課（老人福祉）

（単位：千円）

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
介護ロボット等導入促進事業補助金		47,684	0	新型コロナウイルス感染症対策事業として、町内の特別養護老人ホームとグループホーム（計5施設）に、介護ロボットの導入費用として補助金（上限1,000万円）を交付する。	見守り支援機器を始めとする介護ロボットの導入により、接触機会の低減による感染症対策と、夜間勤務の軽減等、職場環境の改善により働きやすい職場づくりに寄与した。 <ul style="list-style-type: none"> ・交付決定件数 5件 ・交付決定額 47,683,699円 [導入機器参考例] 見守り支援機器、移乗支援機器、自動体位変換機能付きベッド等
養護老人ホーム入所措置費		6,191	11,672	環境上及び経済的な理由等により在宅での生活が困難な者に対し、養護老人ホームへの入所の措置を講ずる。	措置対応により、生活環境等の改善を図り、要介護状態の進行を予防した。 <ul style="list-style-type: none"> ・入所措置実人数 2施設3人 ・入所措置費 6,191,385円 ・入所者等負担金 1,734,290円
介護保険特別会計繰出金		264,953	254,708	介護保険特別会計に対する繰出金 <ul style="list-style-type: none"> ・介護給付費分 178,531,387円 ・地域支援事業分 11,113,833円 ・低所得者保険料軽減分 27,400,320円 ・職員給与費等 47,907,000円 	介護保険特別会計の財政基盤の安定化が図られた。

担当課 保健福祉課（障害福祉）

（単位：千円）

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
心身障害者対策事業		266,358	245,641	障害のある人（身体・知的・精神）ができるだけ自立した生活が送れるように、「自立支援給付」を中心とした総合的なサービス（在宅・通所サービス及び施設入所支援サービス等）を提供することにより、障害者の自立促進を図る。	<p>在宅で生活する障害者及び施設で生活する障害者等にあつては、介護給付・訓練等給付サービスと自立支援医療及び補装具の給付（修理）を総合的に利用することで、自立した日常生活活動が送れるようになっている。</p> <p>[利用者数]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問系サービス 13人 ・日中活動系サービス 78人 ・居住系サービス 43人 ・自立支援医療 52人 ・補装具の支給 34人 ・重度心身障害者医療費 133人 ・育成医療 6人
地域生活支援事業		3,227	3,405	障害者及び障害児が、自立した日常生活及び社会生活が送れるよう、地域の特性や利用者の状況に応じ柔軟な形態により事業を効果的・効率的に実施する。	<p>障害の有無にかかわらず、安心して暮らせる地域社会の実現に寄与している。</p> <p>[利用者数等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動支援センターⅠ型 58人 弘前市内2事業所に業務委託 ・移動支援事業 3人 町内1事業所を含む4事業所に業務委託 ・日中一時支援事業 2人 7事業所に業務委託 ・日常生活用具給付事業 29人

担当課 保健福祉課（障害福祉）

（単位：千円）

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
地域活動支援センター 事業		5,177	5,177	[負担金内訳] Ⅲ型（利用市町村で負担金を支出） 5,160,000円	[利用者数等] Ⅲ型7人利用 （町内事業所工房わにっこ） 弘前市内社会福祉法人に業務委託
障害福祉計画策定事業		3,351	0	障害者総合支援法及び児童福祉法で策定が義務付けされており、第6期大鰐町障害福祉計画・第2期大鰐町障害児福祉計画を策定した。	令和3年度から5年度までの計画として策定。障害者及び障害を持つ子どもの親等にニーズ調査を行い、サービスの質の確保・向上を図るための環境整備を行うこととして、計画を推進していく。

担当課 保健福祉課(児童福祉)

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
ひとり親家庭等医療費		4,805	5,182	ひとり親家庭等の児童及びその父又は母の健康保持と福祉の増進を図るため、医療費の負担を軽減する。	母子・父子家庭等医療費を軽減することにより、ひとり親家庭等の福祉増進につながった。 【実績】 母子家庭延人数 1,715人 4,118,999円 父子家庭延人数 168人 685,803円 合計 1,883人 4,804,802円
子ども・子育て支援事業		7,130	7,246	<p>【放課後児童健全育成事業】 女性の就業割合の高まりや核家族化の進行など、児童と家庭を取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後等に児童が安心して生活できる居場所を確保するとともに、次代を担う児童の健全な育成を支援することを目的に大鰐町社会福祉協議会に事業を委託し実施。</p> <p>【延長保育事業】 延長保育の需要に対応させるため、保育所等が自主的に延長保育に取り組む場合に補助を行い、児童福祉の増進を図る。 ・実施施設 ① おおわに文化幼稚園 ・保育標準時間：30分延長 300,000円 ② 大鰐保育園 ・保育標準時間：1時間延長 1,544,000円 ③ 蔵館保育園 ・保育短時間：1時間延長 130,900円 ・保育標準時間：30分延長 300,000円</p>	<p>【放課後児童健全育成事業】 親子が共に参加できるような行事等を開催し、世代の垣根を超えた地域交流の場として機能している。 ・延べ利用児童数：3,471人</p> <p>【延長保育事業】 現代の多様化する就労形態に伴い、保護者が延長保育を希望するケースが増加しており、安心して子どもを預けることができ、保護者にとって利用しやすい施設として定着している。 ・利用延べ人数 ① 949人 ② 1,730人 ③短時間：149人 標準時間：578人</p>

担当課 保健福祉課(児童福祉)

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
				【一時預かり事業】 一時預かりの需要に対応させるため、保育所等が自主的に取り組む場合に補助を行い、児童福祉の増進を図る。 ・助成金額 余裕活用型 児童一人あたり日額：2,400円	【一時預かり事業】 緊急時や育児疲れ解消等の際、安心して子どもを預けることができ、保護者にとって利用しやすい施設となっている。 【実施施設及び延べ人数】 おおわに文化幼稚園：192人
障害児通所等支援事業		23,378	14,697	就学中の障害児に授業の終了後または、夏休み等の休業日に生活応力向上に必要な訓練を行う。	就学中の障害児が利用し、能力向上や機能訓練・療育に役立っている。 [利用者数] ・放課後等デイサービス 9人 ・児童発達支援 4人
児童手当		78,705	81,495	「家庭等における生活の安定」及び「次代の社会を担う児童の健やかな成長に資すること」の二つを目的とし、児童を養育する者に児童手当を支給する。 【月額】 3歳未満 15千円 小学校修了前2人目まで 10千円 小学校修了前3人目から 15千円 中学校修了前一律 10千円 特例給付(所得制限者) 5千円	【総支給額及び延人数】 3歳未満 15,990,000円 1,066人 3歳～小学校修了前(第3子以降) 8,115,000円 541人 3歳～中学校修了前(第1子及び第2子) 54,080,000円 5,408人 特例給付 520,000円 104人 合計 78,705,000円 7,119人
子どものための教育・保育給付費		285,947	273,152	・認定こども園(施設型給付費) 幼稚園と保育所の機能や特長をあわせ持ち、地域の子育て支援も行う施設であり、就学前の教育・保育を一貫して提供する。	【総支給額及び延人数】 ①おおわに文化幼稚園：97,082,720円 (年間899人)

担当課 保健福祉課(児童福祉)

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
				<p>・ 保育所（保育委託費） 就労などのため家庭で保育のできない保護者に代わって保育する施設であり、子どもの健康及び安全を確保しつつ、組織的に保育を実施する。</p>	<p>②あじやら東分園：33,203,550円 （年間256人） ③堀越こども園：4,687,310円（年間34人） ④高城こども園：3,618,990円（年間22人） ⑤上十川保育園：2,034,620円（年間12人） ⑥石川こども園：1,362,690円（年間12人） ⑦柴田幼稚園：3,153,580円（年間54人） ⑧弘前すみれ保育園：1,941,090円 （年間17人） ⑨分園ほりこし：551,320円（年間4人） 合計：147,635,870円（年間1,310人）</p> <p>①大鰐保育園：66,516,240円（年間619人） ②蔵館保育園：65,033,850円（年間679人） ③みどり保育園：1,854,200円（年間24人） ④ひまわり保育園：1,559,760円 （年間12人） ⑤町居保育園：3,169,760円（年間24人） ⑥めぐみ保育園：177,600円（年間2人） 合計：138,311,410円（年間1,360人）</p> <p>※保育所保育料：6,755,280円（認定こども園の場合、給付費から差し引く）</p>

担当課 保健福祉課(児童福祉)

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
中央児童館管理事業		11,672	10,699	<p>幼児及び児童を個別的又は集団的に指導して児童の健康を増進し、情操を豊かにするとともに、児童の健全育成を図るため、大鰐町社会福祉協議会を指定管理者として大鰐町中央児童館の管理運営業務を委託する。</p>	<p>地域子育て支援場所として子育てサークル等と連携し、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等を実施。 放課後児童クラブを併設しており、放課後等子どもたちが集いやすい環境を整備している。</p>

担当課 保健福祉課（健康推進）

（単位：千円）

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
弘前市二次救急輪番制 病院運営費		1,842	1,640	内科・外科系に係る、二次救急輪番制病院の 運営に要する経費の負担をする。	救急医療における住民の安心確保と、輪 番制病院運営事業の維持が図られている。
高度救命救急センター 運営費補助金		3,375	3,608	国立大学法人弘前大学が開設した、医学部附 属病院高度救命救急センターの運営に対し、補 助金を交付する。	三次医療救急体制の確保及び救急医療 の充実が図られている。
予防接種事業		26,430	16,534	予防接種法に基づき、乳幼児及び高齢者に対 し各種予防接種を実施し、疾病の発生及びまん 延の予防を図る。	<p>* 予防接種 接種者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期接種 (8,821,177 円) 不活化ポリオ 0 人、麻しん風しん 67 人 四種混合 132 人、日本脳炎 229 人 BCG 33 人、水痘 60 人 ヒブ 139 人、二種混合 42 人 ロタ 46 人、小児肺炎球菌 136 人 B型肝炎 103 人、子宮頸がん 1 人 ・ インフルエンザ 6 か月～6 歳 (1,256,500 円) : 2 回接種 200 人、1 回のみ接種 24 人 7～12 歳 (1,099,800 円) : 2 回接種 153 人、1 回のみ接種 74 人 13～64 歳 (5,274,320 円) : 1,761 人 高齢者 (7,686,130 円) : 2,571 人 ・ 高齢者肺炎球菌 (1,202,796 円) 173 人 接種率 31.2% <p>* 結核検診受診者数 990 人 (1,089,000 円)</p>

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
風しんワクチン接種支援事業		1,507	2,132	妊娠を希望する女性とその夫、妊婦の夫及び抗体保有率が低いとされる40歳から57歳の男性を対象としてワクチン接種を行い、妊婦等の風しんの感染予防を図る。	＊予防接種 接種者数 ・妊娠を希望する女性 抗体検査 1人、予防接種 1人 ・妊娠を希望する女性及び妊婦の夫 抗体検査 9人、予防接種 3人 ・40～57歳男性 抗体検査 143人、予防接種 25人
子育て支援アプリサービス利用料		264	264	子育てに関する行政情報を配信するとともに、妊娠中の健診や子どもの成長記録の管理、予防接種自動スケジュール管理による接種事故の防止、災害などの非常時の母子手帳のバックアップとして活用する。	母子保健事業、子育て情報、栄養情報、新型コロナウイルス感染症対策情報等を配信。 登録数（R3.4.1時点）88件
妊婦健康診査事業		3,643	3,452	妊婦健康診査を医療機関に委託し、実施することにより、妊婦の健康管理の向上を図る。 （妊婦健康診査受診票14回分助成、多胎妊婦については最大7回まで追加）	妊婦健康診査の定期的な受診につながり、妊娠期の母子の健康が守られるとともに、妊婦の経済的負担が軽減されている。 ＊実施者数 実 48人 延 408人（1～14回） 超音波検査 129人（延） 子宮頸がん検査 31人 HTLV-1抗体検査 31人 性器クラミジア検査 31人 妊婦歯科健診 3人

担当課 保健福祉課（健康推進）

（単位：千円）

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
子ども医療費給付事業		16,447	18,682	0歳から中学3年生までの医療費について現物給付を行う。	<p>保護者の経済的負担が軽減されている。軽症のうちに医療機関を受診するため、医療費が減額している。</p> <p>*2年度（R2年3月診療分～3年2月診療分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児医療費 []は元年度 対象者数 265人[251人] 給付件数 3,472件[4,418件] 支払額 7,608,691円[9,155,537円] 通院6,240,545円[7,518,377円] 入院1,368,146円[1,637,160円] <p>*2年度（R2年3月診療分～3年2月診療分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども医療費 []は元年度 対象者数 361人[364人] 給付件数 1,998件[2,260件] 支払額 8,838,457円[9,526,068円] 通院8,469,332円[8,991,587円] 入院 369,125円[534,481円]
不妊治療費給付費		253	120	<p>【特定不妊治療】</p> <p>保険適用外の特定不妊治療を県の補助事業を活用している夫婦に対し、その治療に係る費用の一部を町が助成する。1回の治療につき青森県が助成した額を差し引いて残った額の3分の2（上限10万円）を助成する。</p>	<p>不妊治療には高額な医療費がかかり経済的な負担が大きいため、治療をしている夫婦へ支援をし、妊娠出産につながることは、少子化対策に寄与する。</p> <p>特定不妊治療は、国の助成制度の見直しにより年々給付件数が減少している。</p>

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
				<p>【一般不妊治療】 不妊治療を受けている夫婦に対し、一般不妊治療に要する費用の一部を助成する。1年度につき3万円を上限とする。</p>	<p>*助成件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療 3件（1人） ・一般不妊治療 4件
ハイリスク妊産婦アクセス支援事業		38	55	ハイリスク妊産婦の周産期母子医療センターの通院等に係る交通費等に対して上限50,000円を助成する。	<p>出産年齢の高齢化等により妊娠・出産のリスクが高まっている。ハイリスク妊産婦の経済的負担の軽減を図ることで、安心して子どもを産み育てることができる。</p> <p>*助成件数 3件</p>
生活習慣病予防対策事業		18,773	19,329	<p>生活習慣病の予防と早期発見・早期対応・早期治療のため、特定健康診査、各種がん検診、骨密度検診、歯周疾患検診、肝炎検査、胃がんリスク検診を実施する。</p> <p>生活習慣病の早期発見のため、30歳から39歳に基本健康診査を実施する。</p> <p>平均寿命を1歳延ばそうプロジェクトを推進し、児童館まつり、成人式と併催で健康イベントを実施する。</p> <p>地区や団体の会合に出向き、健康測定をする出張健康鑑定団を実施する。</p>	<p>*各種健(検)診受診者数（18,528千円） []は元年度</p> <p>被生活保護世帯特定健康診査12人[12人] 基本健康診査(30歳～39歳)29人[37人] 胃がん検診 1,033人[1,099人] 大腸がん検診 1,476人[1,547人] 肺がん検診 1,471人[1,530人] 子宮頸がん検診 540人[568人] 乳がん検診 425人[496人] 骨密度検診 80人[91人] 歯周疾患検診 27人[17人] 肝炎検査 B型115人[158人] C型115人[155人] 胃がんリスク検診 21人[12人]</p>

担当課 保健福祉課（健康推進）

（単位：千円）

事業名	区 分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
					<ul style="list-style-type: none"> *健康イベント、出張健康鑑定団（245千円） ・健康フェスタ in 児童館まつり：中止 ・成人式： 中止となったため、パンフレット（喫煙防止、アルコール、減塩、野菜摂取、こころの健康、がん検診等）の送付のみ実施 ・健康相談 ※健康フェスタ in 鰯 come から変更 期日：令和3年 1月29日（金） 2月23日（火祝） 3月12日（金） 参集：131人 内容：健康鑑定団（血管年齢、骨密度、体組成計）、認知症予防、こころの健康の周知、展示（野菜、喫煙防止、アルコール、肝炎、糖尿病、高血圧、がん検診）を実施 ・出張健康鑑定団 9回、延べ201人

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
シルバー人材センター 運営費		3,104	3,007	<p>高齢者に対する生きがいの充実や社会参加の推進、能力活用としての就労機会を提供するシルバー人材センターを運営する。</p> <p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局人件費（1名分） 3,104,340円 	<p>就労の提供は、活力ある高齢社会の実現に重要な役割を果たしている。</p> <p>[実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録者数 39人 受注件数 379件 延べ就業人員 5,372人 業務契約金額 20,151,733円
診療所整備事業		52,867	5,463	<ul style="list-style-type: none"> 大鰐町立診療所設計者選定支援業務委託 1,929,356円 大鰐町立診療所整備設計業務委託 11,154,000円 土地境界確定業務委託 2,156,341円 旧伝染病棟等解体工事 37,627,700円 	<p>令和元年12月に策定した大鰐町立診療所整備基本構想及び基本計画に基づく設計業務を行うにあたり、公募型プロポーザル方式により設計者を選定した。</p> <p>また、旧伝染病棟等の先行解体工事により、診療所建築工事の際の工事車両通行路の確保が可能となった。</p> <p>引き続き設計業務を行い、令和3年～4年度の建築工事を経て診療所の整備を図る。</p>

担当課 農林課

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
果樹共済加入率向上推進事業		551	557	○果樹共済における掛金の一部助成（補助金） 対象者 89名 対象面積 110.5ha 事業費 4,603,801円 補助率 10～20% 自己負担金 4,052,808円 町補助金 550,993円	果樹生産者による、今後起こると予想される様々な気象災害に対する自助体制の構築と、農家負担となる掛金の軽減により、経営安定化が図られた。
集会施設改修事業		4,356	4,593	○集会施設改修工事費 ・業-第2号 元長峰多目的集会センター 排水設備改修工事 3,219,700円 ・業-第3号 農家高齢者創作館外壁改修工事 1,059,300円 ・施設-第1号 元長峰多目的集会センター 地下埋設物処理工事 77,000円 合計 4,356,000円	集会施設の改修及び簡易な補修を行ない、利用者の便宜を図ることができた。
農道・水路等維持補修管理費		5,317	5,128	○土地改良施設（農道・水路等）の維持補修管理 ① 農業用施設維持管理業務委託料 農道・水路・堰(24箇所) 1,676,781円 ② 建設機械借上料 農道除雪L=50km 2,537,766円 ③ 材料費 砂利 (12地区) 106.0 m ³ 518,375円 生コン (8地区) 38.0 m ³ 584,430円 計 1,102,805円 合計 5,317,352円	降雨等により機能低下した農道に生コン・砂利を敷設し、農業用車両の走行性の向上と農作物の荷傷み防止が図られた。 重機により頭首工取水口の留上げを実施し、用水の安定確保が図られた。 農道及び幹線用水路等の維持補修により、土地改良施設の安定した管理が図られた。 農道除雪により、車両の乗り入れが可能となり、早期除雪の実施による良好なりんご樹等の維持管理が行われ、雪害による被害防止が図られた。

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
農業後継者等養成講座 委託事業		677	1,041	<p>○農業後継者等養成講座委託料</p> <p>①りんご病害虫マスター養成（1年間）R2 （前・後期1名） 前期41,250円＋後期41,250円＝82,500円</p> <p>②りんご基幹青年養成（2年間）R2～R3 （前・後期2名） 前期187,000円＋後期187,000円＝374,000円</p> <p>③りんご剪定士養成（3年間）H30～R2 （前・後期2名） 前期110,000円＋後期110,000円＝220,000円</p> <p>合計 676,500円</p>	<p>りんご病害虫の発生予察から防除までの基礎知識及び応用技術を教育し、地域で活躍できる人材の養成及び青森県りんご生産発展を図るため、関係市町村から選抜されたりんご農家の青年に生産技術や一般教養に関する基礎教育を行い、学習と実践を通じて地域組織活動に中核的な役割を果たすりんご青年の養成を行った。</p>
農業人材力強化総合 支援事業（新規就農）		24,948	24,723	<p>○農業人材力強化総合支援事業補助金</p> <p>・青年農業給付金（経営開始型） 新規就農年齢が50歳未満であり、農業を始めてから経営が安定するまで最長5年間、年間150万円を給付する。（国10/10）</p> <p>交付額 24,688,736円 推進事務費 259,000円 計 24,947,736円</p> <p>H27 1人 H28 6人 H29 5人 H30 2人（内夫婦2組） R1 1人 R2 2人 計17人</p>	<p>農業従事者の高齢化が急速に進展する中、維持可能な力強い農業を実現するため、就農前後の青年新規就農者に対する給付金の給付、農業法人等の青年就農者の雇用における実践的な研修助成等により、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図り、青年就農者の大幅な増大が図られた。</p>

担当課 農林課

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
農業生産施設整備促進事業		8,357	8,486	<p>○農業生産施設整備促進事業補助金(1/2以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易園芸施設の助成 ビニールハウス等 8棟 8人 ・園芸作物用機械等の助成 (選果機・管理機・その他資材)のべ13人 <p style="text-align: right;">町補助金 計 8,356,636円</p>	<p>比較的農作業が閑散となる夏季を活用したトマト等を複合経営として導入し、その際に必要となる簡易型ビニールハウスや、資材購入に対する助成をすることによって産地拡大・安定生産の実現を図り、安定した農業所得の向上がみられた。また、きゅうり、アスパラガス、メロンなどの販売用園芸作物生産用機械及び資材購入に対して助成することによる複合経営の安定した農業所得の向上が図られた。</p>
経営所得安定対策直接支払推進事業		2,773	1,936	<p>○経営所得安定対策等の推進活動経費補助金</p> <p>経営所得安定対策等の実施に必要な、市町村及び地域農業再生協議会が行う普及推進活動や、米の生産数量目標及び面積の配分計画の作成、水稻作付け状況の現地確認、直接支払交付金等の申請受け業務。</p> <p>事業費 2,773千円 補助率 (国10/10) 事業主体 町・農業再生協議会</p> <p style="text-align: right;">町 2,200,000円 協議会 573,000円 合計 2,773,000円</p>	<p>水田農業の経営を安定させ、食糧自給率の向上を図るため、経営所得安定対策を活用するとともに、地域振興作物の収益性の高い作物の作付拡大に取り組み、米の需給調整、転作作物の生産振興、担い手及び農地問題を合わせて取り組み、大鰐町水田フル活用ビジョンを策定し、農業経営の安定と国内生産力の確保が図られた。</p>

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
町単農業施設整備事業		4,642	4,796	<p>○町単－第1号 虹貝清川地区水路整備工事 BF450型 L=41.0m 工事費 836,000円</p> <p>○町単－第2号 長峰砂沢地区水路整備工事 大型フリューム1200型 L=23.0m 工事費 1,595,000円</p> <p>○町単－第3号 唐牛杉ノ木地区水路整備工事 BF500型 L=100.0m 工事費 1,870,000円</p> <p>○町単－第4号 虹貝大熊沢地区水路整備工事 BF600型 L=10.0m 工事費 341,000円</p> <hr/> <p>合計 4,642,000円</p>	<p>基礎的な生活環境の重点的又は補完的な整備が必要な地域防災の観点から、安心して生活のできる農村基盤整備をすることにより、地域農業の活性化が図られ、併せて、その経営の安定に寄与した。</p>
機構集積協力金交付事業		95	242	<p>農地中間管理事業において、経営していた農地を機構に10年以上貸し付け、各協力金の一定条件を満たした場合に対象となる</p> <p>○経営転換協力金 2名 交付単価 10a 当たり 15,000円 1,500円/a×63a = 94,500円</p>	<p>担い手への農地集積や耕作放棄地解消のため、農地中間管理事業を実施することにより、農地の有効利用の継続や農業経営の効率化が図られた。</p>

担当課 農林課

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
多面的機能支払交付金 事業		1,260	4,403	<p>中山間直接支払の非対象農用地に対する水路・農道等の維持管理（地域活動）への支援。 ○令和2年度交付実績（2組織） R2～R6</p> <p>対象戸数：53戸 対象面積：田 23.98ha 畑 3.55ha <hr/> 合計 27.53ha</p> <p>国・県 945,285円 町 315,095円 (国1/2・県1/4・町1/4) 交付金総額 1,260,380円</p>	<p>地域共同で行う多面的機能を支える活動や、地域資源（水路・農道等）の質的向上が図られた。</p>
中山間地域等直接支払 交付事業		29,807	31,574	<p>中山間地域は、平地地域と比べ生産条件が不利な地域であることから、担い手の減少、耕作放棄地の増加等多面的機能の低下が懸念されている。このため担い手の育成等、農業生産活動の維持を通じて中山間地域における耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保するための交付金。 ○令和2年度交付実績（16集落協定）</p> <p>・交付対象面積等 対象戸数：633戸 対象面積：田 1,914,461㎡ 畑 3,012,345㎡ <hr/> 合計 4,926,806㎡</p> <p>国1/2・県1/4 22,355,390円 町1/4 7,451,819円 交付金総額 29,807,209円</p>	<p>標記事業が実施され、各集落活動（農道維持管理、水路の泥上げ、周辺林地の下草刈り）が活発化され多面的機能が確保された。 耕作放棄地についても、各集落単位での維持管理が図られ、放任園等の発生による病害虫の拡散が未然に防止された。</p> <p>※第5期対策 令和2年度から令和6年度</p>

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
現年発生単独災害復旧事業		2,056	878	○令和2年災(単独) ・消耗品 9,900円 ・工事費 単災一第1号 長峰駒木沢地区農地災害復旧工事 工事費 990,000円 単災一第2号 三ツ目内小谷地区道路災害復旧工事 工事費 1,056,000円 合 計 2,055,900円	補助災害対象外の自然災害により被災した農地・農業用施設を速やかに復旧し、公共の福祉の確保や農林水産業の維持を図り、併せてその経営の安定に寄与する。
森林経営管理事業		16,828	7,803	令和元年度税制改正により、森林環境税及び森林環境譲与税が創設され、平成31年4月1日から施行されている。 ○林道の維持管理補修 ・林道維持管理費 5,667,310円 (沢田線、駒木沢林道地区) ○木育推進 31件 ・元気もりもり子育て応援事業 682,000円 (木育セット：お椀・箸・スプーン) ○森林管理 ・意向調査費 199,558円 (対象者195名) ・現地調査費 1,772,100円 ・車両購入・維持管理費 3,423,347円 ・会計年度人件費 2,084,058円 ・基金 3,000,000円 合 計 16,828,373円 (うち森林環境譲与税充当額 16,528千円)	融雪及び降雨等により、機能低下した林道に砂利を敷設することにより、車両の走行性の向上及び山間地道路の安全な道路交通の確保が図られた。 また、今問題となっている、山林の維持管理について、税活用により管理体制が整備され、今後森林整備につながる。

担当課 農林課

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
森林整備事業 (林道三ツ目内・高野 新田線)		3,414	1,284	林道整備事業は県事業であり、町は用地買収 を担当 ○用地買収 4件 3,414,435円	三ツ目内～高野新田をつなぐ林道整備は、当該利用区域内の林産物の流通の円滑化に不可欠な基幹的林道として林業の振興を図るとともに、都市部と農山村との交流による地域活性等の促進、また、災害時の迂回路や地域住民の生活道としての役割を果たす重要な路線であり、過疎地域の自立促進が図られた。

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
急傾斜地崩壊対策事業 負担金		5,000	4,500	虹貝新田地区 擁壁工 L=77m 防護柵工 L=18m 補強土植生法柵工 A=1,100 m ²	危険箇所の整備を行うことで、地域住民の 生命・財産を守り、安全確保が図られた。
町道舗装及び改良事業		57,787	18,828	・地区要望側溝、舗装等整備 (大鰐、長峰、唐牛、虹貝、駒ノ台地区) 側溝工 L=312.3m 舗装工 A=983.0 m ²	雨水排水の整備及び生活道路の舗装整備、 並びに改良工事を進めることにより、快適で 安全な生活環境の確保が図られた。
交通安全対策事業		2,969	1,497	・カーブミラー設置工 N=1 か所 ・LED防犯灯設置工 N=3 基 ・ガードレール工 L=119.0m	危険箇所へのカーブミラーやガードレール、 防犯灯を設置したことにより、交通安全対策 の充実が図られた。
流融雪溝整備事業		39,842	39,996	・居土地区融雪溝整備工事 大鰐高野新田線ほか L=283.7m	狭隘道路地区での冬期間の雪対策として、 流融雪溝の整備を行うことで、車両及び歩行 者の通行の安全確保が図られた。
橋梁改修事業		173,437	123,277	・苦木観音橋橋梁補修工事 1式 ・花岡橋橋梁補修工事 1式 (現場塗装工、床版防水工、下部工補修 工、地覆補修工、防護柵設置工)	橋梁の長寿命化修繕計画に基づく適切かつ 計画的な予防保全補修を実施することで、事 後保全補修に比べコスト縮減となり、費用の 平準化が図られた。
除排雪対策事業		147,445	86,264	11月16日から3月31日の期間中の 除排雪事業 ・除雪延長 L=90.6 km	冬期間の地域住民の安全・安心な道路利用 の確保が図られた。

担当課 建設課

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
都市公園施設管理事業		38,280	31,065	<ul style="list-style-type: none"> ・大鰐温泉スキー場(国際エリア) ・大鰐あじゃら公園・茶臼山公園 ・清川児童公園 ・蔵館児童公園 令和2年～4年 指定管理料 38,280 千円	スキー場及び都市公園施設について、指定管理により、年間を通して一体的に利活用することにより、集客効果や施設維持管理の向上及び安定が図られた。
あじゃら公園・茶臼山公園施設改修事業		30,252	9,284	<ul style="list-style-type: none"> ・スキー場リフト降り場改修工事 1式 ・大鰐スタジアムカウンタボード改修工事 1式 ・あじゃら公園等トイレ水回り箇所感染症対策工事 100箇所 ・雨池スキーコミュニティセンター 駐車場舗装工事 118.6 m² 	あじゃら公園・茶臼山公園の関連施設の保安・維持管理を行い、施設利用者の安全が図られた。
定住促進・子育て住宅支援事業		4,283	4,495	子育て住宅支援補助 新築 4件 リフォーム 8件 計 12件	町内の子育て世帯を対象に、定住促進を図るべく住宅支援を実施した。
空き家等対策事業		3,179	5,148	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家(空店舗)等追加調査業務 1式 ・特定空き家等除却事業補助金 4件 	空き家(空店舗)等の追加調査を実施することにより、空き家の適正管理、積極的な利活用、管理不全な空き家の抑制が図られた。

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
公共下水道事業特別会計繰出金		228,000	222,000	下水道事業特別会計への繰出金	下水道事業の促進により、環境整備の向上が図られた。
流域下水道事業 (建設負担金)		6,300	15,164	<ul style="list-style-type: none"> ・ 処理場 汚泥処理機械設備更新工事等 ・ ポンプ場 ポンプ場電気設備更新 ・ 管渠 ストックマネジメント 計画策定業務 	岩木川流域を対象に、行政区域を越えて整備することにより、建設費・維持管理費の軽減や統括的な計画の立案など、広域かつ効率的に事業を進めることができる。
公共下水道事業		2,752	495	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度末水洗化率 61.0% ・ 汚水柵工 N=5 か所 	汲み取りトイレの水洗化により、臭気等の不快感や伝染病の媒体となる、蚊・ハエ等の発生を防ぎ、また、一般家庭・事業所等からの未処理排水を集合処理することにより、快適な生活環境が守られ、併せて公共用水域の水質保全を図ることができる。
合併浄化槽事業		32,788	33,892	<p>下水道事業区域外の生活排水処理対策として、対象区域の毎戸に町が合併浄化槽を設置し、設置者から使用料を徴収して維持管理を行う事業</p> <p style="text-align: right;"> 元年度末設置基数 377 基 <u>2年度設置基数 14 基</u> 計 391 基 </p>	町が統括的に保守点検等の維持管理をすることにより、下水道と同じく生活環境の改善、公共用水域の水質保全の効果が期待できる。

担当課 学務生涯学習課

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
校内ネットワーク環境 整備事業		25,850	0	G I G Aスクール構想における「一人一台端末」の実現にあたり、校内へ高速大容量ネットワーク環境を整備。 【令和2年度実績】 大鰐小 14,777,400円 大鰐中 11,072,600円 計 25,850,000円	G I G Aスクール構想に対応するため、高速大容量ネットワーク環境を整備できた。今後は、授業等における活用を進める。
情報機器整備事業		35,035	0	小・中学校の教員及び児童生徒に対して、一人一台の学習用P Cを整備。 【令和2年度実績】 大鰐小 22,484,000円 大鰐中 12,551,000円 計 35,035,000円	G I G Aスクール構想に対応するため、児童生徒に一人一台のP Cを整備できた。今後は、授業等における活用を進める。
特別支援教育推進事業		11,425	5,475	小・中学校の普通学級に在籍する学習障害や多動傾向等により特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置。	令和2年度は、小学校に3人、中学校に2人の支援員を配置し、支援が必要な児童生徒に手厚い対応を行うことができた。

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
AET招致事業		4,702	4,251	【令和2年度実績】 人件費 4,289,698 円 旅費 0 円 需用費 70,950 円 役務費 93,390 円 住宅借上 78,845 円 施設用備品費 53,350 円 負担金 116,120 円 計 4,702,353 円	中学校に外国語指導助手を配置することによって、生きた英語を体験することができる。スピーチコンテストや英検の面接の練習を手伝いListening/Speaking能力の向上に寄与した。 また、小学校の外国語活動の授業にも派遣し、中学校入学後の英語教科にギャップなく取り組んでいる。
スクールバス運行事業		14,737	12,970	長小方面 7,869,950 円 二小方面 3,466,650 円 駒木方面 3,400,100 円 計 14,736,700 円	遠方から通学する児童のためスクールバスを運行し、児童の安全な登下校を確保することができた。
小学校改修事業		14,971	68,404	遊具更新工事(ブランコ、登り棒) 3,190,000 円 水回り箇所感染症対策改修工事 3,711,400 円 暖房設備改修工事 1,001,000 円 冷房設備設置工事 7,068,600 円 計 14,971,000 円	学校施設・設備等の改修工事等を実施することにより、感染症対策などを含めた適切な教育環境の維持管理が図られた。

担当課 学務生涯学習課

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
中学校改修事業		10,137	63,250	便所改修工事設計業務委託 2,464,000円 駐輪場照明設備設置工事 319,000円 冷房設備設置工事 7,353,500円 計 10,136,500円	学校施設・設備等の改修工事等を実施することにより、適切な教育環境の維持管理が図られた。
生きる力育成事業補助金		1,150	1,321	「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」などの「生きる力」を育むために、決められた予算内において学校長の裁量で自由に予算を執行できる。 大鰐小 690,000円 大鰐中 460,000円 計 1,150,000円	小学校では、鰐っこ暗唱詩集を作成し、文芸作品を暗唱させることで、文学的興味や関心を高めるとともに、豊かな心を育むことができた。また、スキー教室の実施により、ふるさとへの愛着を育むことができた。 中学校では、問題集の購入や実力テストを実施し分析することで、学力の向上を図ることができた。また、総合的な学習の時間において、助産師による講習会を行うことで生徒自身が命の大切さを考える機会を与えることができた。

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果						
部活動支援事業		1,108	3,005	<p>大鰐小・中学校における部活動等の充実及び発展を図るため、児童生徒が選手として対外競技会等に参加するための費用を補助するほか、必要に応じて備品購入に係る費用を補助している。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>大鰐小</td> <td>560,000 円</td> </tr> <tr> <td>大鰐中</td> <td>548,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,108,000 円</td> </tr> </table>	大鰐小	560,000 円	大鰐中	548,000 円	計	1,108,000 円	<p>コロナ禍により様々な部活動の大会が平常どおりの開催ができない状況であった。</p> <p>大鰐小学校スキー部の児童が、県代表として全日本小学生選抜クロスカントリー大会に出場を果たし、練習の成果を発揮することができた。</p> <p>大鰐中学校においても、昨年度に引き続きスキー部の生徒が全国大会に出場し、上位の成績を残すことができた。</p> <p>全国大会では、トップレベルの競技を体験することにより、向上心の醸成と技術の向上が図れ、他県の児童生徒との交流など、貴重な体験をさせることができた。</p>
大鰐小	560,000 円										
大鰐中	548,000 円										
計	1,108,000 円										

担当課 学務生涯学習課

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
小学校扶助費		4,123	5,230	就学援助費・特別支援就学奨励費 学用品費等 1,045,804 円 給食費 529,950 円 <u>遠距離通学費 2,547,540 円</u> 計 4,123,294 円	【就学援助費・特別支援就学奨励費】 経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者及び特別支援学級で学ぶ児童生徒の保護者等に対して、教育を受ける上で必要な学用品費や学校給食費の扶助をしたことにより、義務教育の円滑な実施がなされた。 ◇扶助対象者 小学生 35名 中学生 30名
中学校扶助費		2,782	4,067	就学援助費・特別支援就学奨励費 学用品費等 1,378,777 円 給食費 528,000 円 <u>遠距離通学費 874,780 円</u> 計 2,781,557 円	【遠距離通学費】 遠距離地域から通学する児童生徒の保護者に対して、通学費の全額又は一部を扶助したことにより、保護者の経済的負担の軽減と義務教育の円滑な実施がなされた。 ◇扶助対象者 小学生 58名 中学生 18名

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
新型コロナウイルス対策事業費		3,490	0	<p>新型コロナウイルス感染症対策として備品を購入し、十分な教育活動の継続を図る。</p> <p>小学校 1,251,800円 非接触型表面体温測定器 1台 ウォータークーラー 1台 図書室用書籍消毒機 1台</p> <p>中学校 1,435,500円 ウォータークーラー 3台 製氷機 1台 図書室用書籍消毒機 1台</p> <p>公民館 803,000円 図書室用書籍消毒機 1台</p>	<p>感染リスクを最小限にしながら十分な教育活動を継続することができた。感染症対策を徹底しながら児童及び生徒の学びの保障をすることができた。</p>

担当課 学務生涯学習課

(単位：千円)

事業名	区分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事業内容	効果及び成果
放課後子ども教室推進事業		1,461	1,156	放課後子ども対策事業 (補助率 国1/3 県1/3) 教育活動サポーター、コーディネーター 謝金等	月曜日から金曜日の放課後に実施。新型コロナウイルス関連の臨時休校に対応した放課後子ども教室を開設するなど、放課後における子どもの安全・安心な居場所づくりと、学習支援及び体験活動を実施することができた。
中央公民館改修事業		6,307	7,124	・雨漏り修繕工事 工事請負費 2,025,100円 ・水回り箇所感染症対策改修工事 工事請負費 4,281,421円	屋根(4階)の雨漏り工事や感染症対策で自動手洗い器等の工事を行い、利用者の利便性を図るとともに、安心・安全を確保することができた。
小中学校スキー振興事業		608	389	児童・生徒のスキーリフト使用料について補助 ○利用人数及び助成金額 小学生 282人 324,300円 中学生 183人 283,650円 計 465人 607,950円	地域の特色であるスキーに親しむ機会が増え、楽しみながら健やかな体を育み、健康増進を図る事ができた。 昨年度に比べ、当事業を利用する児童・生徒が増加しており、需要が高まりつつあるため継続して事業を実施していきたい。
虹貝多目的広場管理費		3,550	1,640	環境整備業務委託料 1,318,625円 (草刈り、薬剤散布、支障木伐採等) AED(除細動器)リース料 97,200円 水回り箇所感染症対策改修工事 1,933,579円 消耗品、光熱水費ほか 200,445円 計 3,549,849円	平成30年度から利用を開始し、使用団体及び日数は増加しており、野球が主な利用目的だったが、昨年秋頃からラグビーチームが利用し始め、使用頻度も高まっている。施設を利用する団体等が安心・安全に使用できるようトイレの水回り改修工事を実施し、感染症対策に努めた。

担当課 学校給食センター

(単位：千円)

事業名	区 分	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	事 業 内 容	効 果 及 び 成 果
学校給食費		27,412	24,839	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食材料費 27,412,444円 ・ 給食実施状況 <ul style="list-style-type: none"> 児童 48,151食 (194日) 生徒 26,628食 (192日) 教職員等 11,857食 (199日) 合計 86,636食 * () は実施日数 	<p>安全でおいしい学校給食を提供することができ、児童生徒の健全な心身の発達に寄与できた。</p> <p>また、地場農産物の活用に努め大鰯産の食材を学校給食の献立に採用できた。</p>

地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられた社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費

（歳入）地方消費税交付金（社会保障財源化分） 109,832 千円

（歳出）社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費 1,783,695 千円

【社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費】

（単位：千円）

事業名	経費	財源内訳					
		特定財源			一般財源		
		国県支出金	地方債	その他	地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	その他	
社会福祉	総合福祉	19,208	1,892	0	0	1,705	15,611
	障害者福祉	283,377	209,005	0	1,940	7,133	65,299
	高齢者福祉	40,306	729	0	5,175	3,389	31,013
	児童福祉	389,117	278,827	0	6,857	10,187	93,246
	小計	732,008	490,453	0	13,972	22,414	205,169
社会保険	国民健康保険	128,742	57,001	0	0	7,065	64,676
	後期高齢者医療	197,466	35,808	0	0	15,923	145,735
	介護保険	253,838	20,513	0	0	22,982	210,343
	小計	580,046	113,322	0	0	45,970	420,754
保健衛生	医療施策	416,650	10,089	37,900	151	36,299	332,211
	健康増進対策	54,991	1,931	0	785	5,149	47,126
	小計	471,641	12,020	37,900	936	41,448	379,337
合計	1,783,695	615,795	37,900	14,908	109,832	1,005,260	